

進路指導室へようこそ 3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第5号

令和7年4月21日(月)発行

■TEAM-OG アンケート「大学って、こんなところだった！」

昨年度前女を卒業した先輩たちも4月から新学期。新しい環境のもとで戸惑いつつも刺激的な毎日を送っているようです。高校生の皆さんにとっては大学生の生活がどのようなものなのか、高校生と何が違うのか、今ひとつピンとこない人もいるでしょう。そこで、大学1年生の先輩から、「大学って、こんなところだった！」というレポートを送ってもらいました。パンフレットには現れないリアルな大学生の日常が見えてきませんか？大学というものを身近に考えるひとつの材料にしてみてもいいかもしれません。

○授業を一から自分で組むのが新鮮！履修登録は大変だけど、自分で何を学ぶかをカスタマイズできて楽しいです！あと同じ授業に先輩がいたり、同級生に年上がいたりするのが大学！って感じで好きです(交友の輪も広がるし！)。友達とお昼を食堂や外で食べたり、空きコマにパソコンをカタカタしながら課題をしたり…高校のとき思い描いていた The・大学生な日々を送ってます！(東京外語大学1年 Aさん)



○キャンパスがとにかく大きくて、迷子になりかねない。担任とは名ばかりで、履修登録やら教科書販売やら課題やらなんにもかも自己責任。自分から動かないと情報も得られない。大学の教授も前女の先生方のようにわかりやすく親切に教えてくれるとは限らない(ドイツ語の教授は初回授業の一言目にペラッペラのドイツ語で『4人グループを作れ』と、かました)。でもそのおかげで学生どうしの団結力は強い。サークルに入って過去問を入手した者勝ちという話はよく聞く。殿方との会話のリハビリをするなら、こちらの事情と心情をわかっている群馬県男子校出身者がおすすめ(個人の感想です)。(東北大学1年 Oさん)

○人生初めて学校に徒歩で行くようになり、毎日健康に歩いてます。電車に囚われないで行けるの最高すぎ!!!都心なので立派なビルの中にひっそりとマツキヨやらスーパーが潜んでるのに驚く日々です。新宿駅周辺をまるで群馬における高崎のように扱ってる自分が存在し始めてるのが恐怖ですね、成長ってやつでしょうか。

都心にあるからか周りの子は東京、神奈川、千葉出身の実家から通ってる子が多くて自炊を褒められます、嬉しいことです(決して実家から都心に通えないことをバカにされてるわけではないと願いたい)。まだ群馬どころか北関東仲間に会えてないので早く出会いたいところです。

履修登録は諸先輩方が仰ってたような『好きな授業取り放題!!!』って感じではなかったですね笑。必修授業との兼ね合いが大変でした。他学科の授業も取れるところが大学の魅力です。私は法学部の比較政治論、総合グローバル学部の国際関係論入門、神学部の宗教史、文学部の舞台芸術の授業を取りました。これから授業が始まりますがすごく楽しみです。

前女…というか女子校出身の弊害を見事抱え、未だに殿方とお話出来てません。何を話せばいいんですか彼らと。おててを繋いでいる諸先輩方をお見かけすると眩しく感じます。暫くはリハビリの日々です。(上智大学1年 Oさん)

○課題がほぼ毎授業出て忙しい。パソコンをフル活用するので、使い方が分からないと大変。毎日時間割が違うので、生活リズムを整えるのが難しいです。(金沢大学1年 FNさん)

○色んな考えを持つ人がいます！カフェテリアに留学生がたくさんいてお話しするのが楽しいです。

自分から動かないといけません。たくさんの部活や活動があるので、自分で興味のあることに向き合っていくことが大事だと思いました。でも、先輩や先生方が優しいので、わからないことがあったり、不安なことがあったらすぐに聞ける環境があるので安心です！

楽しいことがたくさんあるので、大学生生活を楽しみにしてください！(国際教養大学1年 のんさん)

○入学式で言われましたが、「大学は勉強をする所ではありません、研究をする所です。」だそうです。パソコン苦手だと色々辛いです。(筑波大学1年 Kさん)



■TEAM-OGからのメッセージ2（新入生の皆さんへ）

1年生の皆さんは入学してはや2週間。少しずつ前女の生活に慣れてきたでしょうか。焦らず馴染んでいけばいいですが、同時に入学したときの気持ちも持ち続けて学校生活を過ごしてほしいとも思います。入学生の皆さんへOGの先輩から応援メッセージが届きました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年の春から群馬大学の医学部医学科に進学することになりました。今回は高校生活を振り返って感じることと大学生活についてお話ししたいと思います。

まず、大学に進学しても前女で作った貴重な友人の存在の大切さを実感しています。春休みには一緒にご飯を食べたり、旅行に行ったりして沢山の思い出ができました。また、それぞれ新しい環境で1人暮らしを始める人も多く、不安や寂しさを感じる時には互いに前女で作った友人と電話やラインをしています。前女の生活は勉強や部活で忙しいですが休み時間や行事を通して生涯の友人を沢山作ってほしいなと感じます。特に新入生歓迎会や体育祭、文化祭、予餞会での盛り上がりは今も忘れられません！

大学生活についてですが、入学式の翌日から1年生全員でゆうすげという合宿がありました。群馬大学以外でも泊まりの合宿に行く友人もいます！伊香保温泉の露天風呂はとても気持ちよく、夕飯も大きな会場を使ってみんなで食べました。伊香保散策では温泉饅頭やアイスを食べ、展望台にロープウェイで上りました。部屋が同じ人とは出身地のこと、高校のこと、部活のことなどで話が盛り上がりあっという間に夜遅くになっていました。群馬出身だと群馬の観光地やおいしい店について紹介できます。また中学の頃テニス部に入っていたため硬式テニス部の見学に行きました。すき焼きやファミレスに先輩方が連れてってくれたり、試打会ではテニスを親身になって教えてくださいました。体育の授業ではキャンプやスキー、スケートなども選択できるそうです。医学科は1学年110人で6年間を一緒に過ごすので皆ともしっかり仲良くなりたいです。

新入生の皆さん、私も高校生活がスタートしたばかりの頃は不安と緊張でいっぱいだったことをよく覚えています。しかし前女での3年間面白いことがたくさん待っているし、辛いときは友人と助け合って大きく成長できます！ぜひ3年間全力で楽しんでください！（群馬大学医学部1年 Sさん）

ご入学おめでとうございます。高校進学にあたり、不安と希望を抱いていると思います。私は高崎出身で知り合いが少なく、不安でした。また医学科志望でしたが、勉強にも自信がなく、不安でした。しかし、前女できた友達は勉強へのモチベーションが高く、私も鼓舞されていました。彼女達は実力もあるので、多くのことを私に教えてくれました。また、私は好奇心旺盛なのですが、友人はそんな私を理解して、応援もしてくれたので、3年間でNPOの活動や文化祭運営、部活、ボランティア、受験の推薦にも挑戦できました。頑張っている人が冷やかされず、当たり前のように応援される環境は、珍しく、かけがえのないものだと感じています。確かに高校の勉強は大変ですが、大学合格のためではなく、将来の自分のために勉強をしていると考えれば、ワクワクするはずですよ。

自分は医学科志望のため、受験には関係ないと思い、文系教科を疎かにしていました(先生方ごめんなさい)。大学に入学して、そういった文系教科も生きていく上で、他学部の人とコミュニケーションを取る上で必要な知識であることを学びました。どんな教科であっても、無駄な知識というものではなく、大切だということです。

人生の中でたったの3年間しかない高校生活。自分の好きな勉強だけしていた私のようにならず、新入生の皆さんには広い視野を持った人になって欲しいです。また、勉強だけではなく、部活や行事、その他の活動にも積極的に取り組み、後悔のない3年間にしてください。きっと素晴らしい3年間になると思います。応援しています。今年、2025年10月12日、13日に東北大学星陵キャンパスでは医学祭が開催されます。医学部(医学科だけでなく、看護、検査、放射線も含まれます)と歯学部主催のお祭りです。3年前に私は参加し、東北大学に対する思いが憧れから志望校に変わりました。3年に一度のお祭りなので、ぜひ参加してみてください！（東北大学医学部2年 Yさん）

